

平成30年度第3回（通算第97回）
山口国際文化化学研究会

■ 大学院国際文化化学研究科必修科目

「文化コーディネート論」について考える

報告1：水谷由美子教授 「文化コーディネート論」の成果について

報告2：齊藤 理教授

「文化交流創成コーディネーター：ICCO(Intercultural Coordinator)」とは
鼎 談：「文化コーディネート論のこれから」：

水谷由美子教授 x 齊藤理教授 x 山口光専攻長

本研究科の特色ある科目として、大学院生全員が履修する「文化コーディネート論」があります。これまで長年にわたり、地域社会の活性化や地域文化の創生を担うキーパーソンを招き、大学院生が地域に出てプロジェクトを企画運営してきました。毎年7月に開催するフォーラムでは、その成果を広く地域公開しています。

一方、本研究科は日本国際文化学会の文化交流創成コーディネーター資格認定制度にも参加しています。この教育プログラムを参考に、文化をコーディネートする人材に必要な力とは何かについて考えつつ、本科目の目的や内容、教育方法、評価や成果について振り返ります。

- 日 時 平成30年6月27日（水曜日）16時25分より
- 場 所 北キャンパスB202教室
- 主 催 山口県立大学大学院国際文化化学研究科

（一般参加可）

教員世話人 山口 光 / 院生世話人 木谷 曜子、下川 まつゑ、十亀 陽太、栗栖 尚太郎